

ネタニヤフとトランプの大嘘をなぜ放置するのか

イスラエルのネタニヤフ首相は4月7日、ホワイトハウスでトランプ大統領と3時間にわたって会談した。その後記者団に公開された場面で、2人は見過ごすことのできない発言を行っている。一般メディアはこの部分をまったく報じていないが、「ジャッジング・フリーダム」というユチューブビデオ（司会ジャッジ・ナポイターノ）が、国際政治学者のジョン・ミアシャイマー教授とのインタビューのなかで、次のようなやりとりを紹介している。



ホワイトハウスでの会談の場で

記者団からの質問：（ガザへの）人道支援を止めることも効果的な圧力だとお考えですか？

トランプ大統領：ガザ地区に対する私の考えはみなさんも知っているだろう。私は、ガザ地区はとてつもなく重要な不動産だと考えている。ガザ地区での死者の数は信じられないほどだ。だからこれまでも言ってきた。なぜイスラエルはガザを手放したのか。理解できない。イスラエルが持っていたのに。（手放したのは）彼（ネタニヤフ首相）ではない。彼ならぜったい手放さなかっただろうと断言できる。私は彼をよく知っているから、ありえないことだ。ところが彼らは海岸沿いの土地を手放し、平和のためにといって人々に与えた。その結果はどうだったか。良くなかった。善意で手放したけれども、うまくいかなかったのだ。

ネタニヤフ首相；そして（トランプ）大統領が話したのは、なによりもまず人々に選択肢を与えることだった。ガザ地区の人々は、どこでも閉じ込められていた。戦場も含めて。つまりウクライナであろうとシリアであろうと、他の場所であろうと、人々はどこへでも行くことができた。ガザ地区だけが、人々が閉じ込められていた唯一の場所だった。我々が閉じ込めたわけではない。彼らが閉じ籠っていたのだ。そういう人々に選択肢を与えて何が悪いのか。今、大統領と私は昼食をとりながら、いくつかの国々について話した。今はその国々について触れないが、ガザの人々が去りたいのであれば、受け入れたいと彼らは言っている。私はこれが正しいことだと思う。もし（選択肢を）与えても、ガザの再建には何年もかかるだろう。その間、人々は選択肢を持つことができる。大統領にはビジョンがあり、各国はそのビジョンに応えている。我々はそれに取り組んでいます。みなさんにも歓迎してもらいたい。

司会者ナポリターノ；ガザ地区はイスラエル人のもので、彼らはそれをパレスチナ人に与えた。そんな話を聞いたのは初めてです。そしてパレスチナ人を閉じ込めたのはイスラエル人とイスラエル国防軍ではなく、それ以外の誰かだ。そんな話を聞いたのは初めてだ。教授はどう思いますか。

ミアシャイマー教授；まず、ネタニヤフ首相の発言について、次にトランプ氏について話しましょう。私は、まさに厚かましい嘘の連発だと思います。パレスチナ人が住んでいるのは強制収容所ですが、誰が彼らを押し込めたのでしょうか。疑問の余地はありません。彼らを強制収容所に押し込めたのはイスラエルです。10月7日以前にも、イスラエル軍は時折、そこに入り込み、

「芝刈り」と呼ぶ作戦を行っていました。つまり、入り込んで相当数のパレスチナ人を殺害し、誰が主人なのかを彼らにわからせるのです。実際、少なくとも2件の「芝刈り」作戦では、10月7日にイスラエル人が殺害された数よりも多くのパレスチナ人が殺害されました。そして、もちろん、10月7日以降、何が起きているかという、イスラエルがガザ地区で大量虐殺を行っているのです。

アリエル・シャロン（元イスラエル首相）がイスラエル軍とイスラエル入植者をガザから撤退させ、平和の地に変えようとしているなどというのは、物語です。冗談でしょう。彼の当時のアドバイザーは「我々の目的はパレスチナ人をホルマリン漬けにすることだ」と発言しました。まさにその言葉通りです。イスラエル人がパレスチナ人に対して善意を持っているなどというのは馬鹿げています。イスラエル人が本当に望んでいるのは、パレスチナ人を一掃し、ガザ地区を含む「大イスラエル」から追い出すことです。つまり、ネタニヤフ首相が言ったことは、基本的にすべて嘘です。私にとって本当に驚きなのは、（こういう発言を）メディアが暴露しないことです。主流メディアは、このような馬鹿げた彼の発言を放置しています。大学教育を受けた人なら誰でも、ネタニヤフが大嘘を並べていることを知っているはずですが、誰も彼を追及しません。これが米国の現状なのです。

ナボリターノ；トランプの発言は、中東の地政学史の基礎的な授業だったら、おそらく落第するほどの無知なのに、かれは何の罰もうけていません。

ミアシャイマー；疑いの余地はありません。トランプの問題について2つを指摘したいと思います。トランプの問題点は、誤った発言や嘘を、ついていけないほどの速さで次々と繰り出すことです。彼が嘘をつく、それを正そうとするが、彼はまた別の嘘をつく。しかし、私が思うに、トランプ氏についてより重要な点は、彼には道德観がないということです。ガザ地区で起きていることを目撃した人なら誰でも、それを大量虐殺と呼ぼうが大量殺人と呼ぼうが、ただ起きていることを見ているだけでどう思うでしょう。彼がその破壊について語るのを聞くと、何が起きているのかを十分に理解していながら、とても軽々しく扱っていることがわかるでしょう。パレスチナ人に対してまったく

同情を感じないのはなぜなのか。純粹に人間的なレベルで理解に苦しみます。実に驚くべきことです。これは彼の人間性をよく表していると思います。

ナポリターノ；彼はまたしても、ガザ地区を米国が所有し占領する自由区域にしようと言っています。（続きをきいてみましょう）

トランプ；ガザ地区に対する私の考えは知っているだろう。あそこは信じられないほど重要な不動産だ。なんらかの形で我々が関与することになるだろう。しかし米国のような平和維持部隊がガザ地区を管理し、所有することになれば素晴らしいじゃないか。なぜなら、今も、何年も何年も、聞かされるのは殺し合いとハマスなどの問題ばかりだからだ。パレスチナ人たちを連れて、周辺のいろんな国へ移住させたらどうだろう。そうしてくれる国はたくさんある。そうすれば、本当の自由地帯になる。毎日殺し合いが行われることのない自由地帯として、まさに凄惨なところになる。

ナポリターノ；トランプが言わなかったことといえば、「それから、私の義理の息子が不動産開発できる」ということだ。

ミアシャイマー；自問したい質問は、誰が殺しをしているのかということですが、パレスチナ人は確かに殺しをしています。イスラエル人が殺した人数と比較すると、パレスチナ人が殺した人数は圧倒的に少ない。これは明白な事実です。だからもし彼がガザ地区を巨大な平和地帯に変えたいのであれば、直面する最大の課題、あるいは障害はパレスチナ人ではなく、イスラエル人です。もちろん、彼はそれを認めないでしょうが。

ナポリターノ；ここでまたネタニヤフ首相の言葉をききましょう。大統領執務室を後にした数時間後、彼はワシントン DC のイスラエル大使館からイスラエル国民に向けて演説を行っています。さて、彼が何を言っているか。

ネタニヤフ首相；我々（自分とトランプ大統領）が一致したのは、イランの核兵器保有はないということだ。これは合意によって行うことができるが、この合意はリビア方式である場合のみだ。（イランに）入り込み、施設を爆破し、アメリカが監督しアメリカが実施する形で、すべての設備を解体する。これならうまくいくだろう。そうならない2つ目の可能性は、彼ら（イラン）が協議

を引き延ばすことだ。その時は軍事的オプションになる。誰もがこれを理解している。我々はこれについて長く話し合った。

ナポリターノ：彼はまず、同意と述べている。つまり、トランプ大統領が同意しているということだ。トランプ大統領はイランを弱体化させ、リビアのような状態にすることを同意しているのだ。（以下略）

会話は以下のビデオで視聴できます（約 4 分ごろから）

https://mearsheimer.substack.com/p/the-lies-that-bind?utm_source=post-email-title&publication_id=1753552&post_id=161110289&utm_campaign=email-post-title&isFreemail=true&r=19czm3&triedRedirect=true&utm_medium=email

【翻訳 田中靖宏】